

全国女性会館協議会 第55回全国大会 分科会 報告書

参加者： 15人

分科会 A

企業における女性の活躍推進の支援～企業との協働～

○富山県と富山県女性財団の取り組み・現状を報告

○事例発表

(株)高志インテックヒューマ スタッフ担当部長 井戸 敏恵 氏

- ・インテックグループの女性活躍推進の取り組みの紹介
育児休業の拡充、家庭教育支援、事業所内託児施設など
- ・(財)富山県女性財団との協働事業の紹介
母子家庭のための就労支援、技術講習、ビジネスリーダー修了生のネットワークづくりなど

○グループワークに分かれて各センターが抱えている問題点を話し合い発表

主な発表内容

- ・企業に対して表彰、認定、出張講座、講演会などを行っている。しかし、企業により温度差がある。
認定などのハードルを下げることで男女共同参画推進が広まる方が実効性が高いのではないかと。
- ・企業に対して協働を持ちかける場合
企画に対して明確なコンセプトが必要
企業のメリットを打ち出せるように（ウィン・ウィンの関係）
県や市などの行政や経済団体など、センター単独ではなく他の団体と連携することにより企業の信頼が得られやすい
情報共有とニーズを把握するために、企業に企画の段階から関わってもらおう
- ・企業からの出張講座の要請が多いのは、良い研修だったという噂が企業に広まり、企業からの信頼が得られて、積極的に関わってもらえるようになったからか。→継続的な支援が必要
- ・又エックのようなナショナルセンターでは、個別の企業と連携するよりも業界団体と連携する方がよいのではないかと。そうすると地方のセンターと企業が結びつきやすくなるのではないかと。

質疑応答

Q：出張講座の費用は

A：無料、実費をもらう など

Q：富山の実践は県の主導だったか？

A：センター主導で。経済団体や企業などのつながりや信頼を得ることから始めた。

